

神がモーセに「出エジプト」を命じた理由は、イスラエルの民(ヘブライ人)をエジプトでの奴隷状態から救い出し、彼らを神の約束の地へ導くためだった。

神がモーセに出エジプトを命じられたのは、①イスラエルの民の叫びに応えるため、②アブラハムへの約束を果たすため、③イスラエルをご自身の民として聖別するため、④神の力と名を世に告げるため、という理由がありました。出エジプトは、神の救済計画の中心的出来事の一つです。

➤イスラエルの民の叫びに応えるため(イスラエルの民の叫びを神が聞かれたため)

出エジプト記 3 章 7～8 節では、神がモーセにこう言います。

主は言われた。「わたしは、エジプトにいるわたしの民の苦しみをつぶさに(→こまかにくわしく、つまびらかに) 見、追い使う者のゆえに叫ぶ彼らの叫び声を聞き、その痛みを知った。それゆえ、わたしは降って行き、エジプト人の手から彼らを救い出し、この国から、広々としたすばらしい土地、乳と蜜の流れる土地、カナン人、ヘト人、アモリ人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の住む所へ彼らを導き上る。」

神は民の苦しみを無視せず、憐れみをもって救いの計画を立てました。

➤アブラハムへの約束を果たすため

神はアブラハムに「あなたの子孫にカナンの地を与える」と約束されました(創世記 15 : 13～14、出エジプト記 6 : 4)。その約束を果たしたのが「出エジプト」でした。

→創世記 15 : 13～14 主はアブラムに言われた。「よく覚えておくがよい。あなたの子孫は異邦の国で寄留者となり、四百年の間奴隷として仕え、苦しめられるであろう。しかしわたしは、彼らが奴隷として仕えるその国民を裁く。その後、彼らは多くの財産を携えて脱出するであろう。

→出エジプト記 6 : 4 わたしはまた、彼らと契約を立て、彼らが寄留していた寄留地であるカナンの土地を与えると約束した。

➤イスラエルをご自身の民として聖別するため(神の民としての召命)

神はイスラエルの民をただ救うだけでなく、「わたしの民」として契約を結び、礼拝する者とするために導き出されました(出エジプト記 19 : 5～6)。

→出エジプト記 19 : 5～6 今、もしわたしの声に聞き従い／わたしの契約を守るならば／あなたたちはすべての民の間にあって／わたしの宝となる。世界はすべてわたしのものである。あなたたちは、わたしにとって／祭司の王国、聖なる国民となる。これが、イスラエルの人々に語るべき言葉である。」

➤神の力と名を世に告げるため(ファラオと異教世界への神の栄光の啓示)

出エジプト記 9 章 16 節で神はファラオに対してこう言います。「しかしわたしは、あなたにわたしの力を示してわたしの名を全地に語り告げさせるため、あなたを生かしておいた。」

つまり、出エジプトを通して、神の力と義、栄光がエジプトと全世界に示されるという目的もありました。